

- \* 米国本社リリース参考訳
- \* 公式リリースは[P & G米国本社サイト](#)をご覧ください。

## P & G 2025/26 事業年度 第3四半期(1-3月期)業績

純売上高 7%増、本源的売上高 3%増

希薄化後 1株当たり純利益 6%増の 1.63 ドル、1株当たり中核利益 3%増の 1.59 ドル  
通期の純売上高、1株当たり利益、ならびに、資金還元の見通しを維持

2026年4月24日 米国シンシナティ発

ザ・プロクター・アンド・ギャンブル・カンパニー(NYSE:PG)は、2026事業年度第3四半期の純売上高が、前年同期比7%増の212億ドルであったと発表しました。事業の買収・売却の影響と為替レートの影響を除いた本源的売上高は、3%増加しました。希薄化後1株当たり純利益は、「グラッド」の合弁事業解消益により、前年同期に比べて6%増加して1.63ドルになりました。1株当たり中核利益は、前年同期と比べ3%増加して1.59ドルになりました。

当四半期の営業キャッシュフローは40億ドルで、純利益は40億ドルでした。調整済フリーキャッシュフロー生産性は82%でした。調整済フリーキャッシュフロー生産性は、設備投資支出を差し引いた営業活動によるキャッシュフローが、「グラッド」の合弁事業解消益を除いた純利益に対して占める割合を指します。当社は、25億ドルの配当金と6億ドル超の自社株式の買い戻しにより、合計32億ドルを株主の皆様へ還元しました。今月上旬、P & Gは、70年連続を記録する四半期配当の増配を発表し、1890年の株式会社化以来、136年連続で配当を続けています。

単位：十億ドル、ただし1株当たりの数値を除く

第3四半期(1-3月期)							
米国会計基準	2026年度	2025年度	%増減	会計基準外	2026年度	2025年度	%増減
純売上高	\$21.2	\$19.8	7%	本源的売上高	—	—	3%
希薄化後1株当たり利益	\$1.63	\$1.54	6%	1株当たり中核利益	\$1.59	\$1.54	3%

\* 定義と、その関連のある米国会計基準上の指標との差異説明は、添付書類1：米国会計原則で規定されない財務指標をご参照ください。

社長兼最高経営責任者(CEO)シャイレッシュ・ジェジュリカーは、「当社は、第3四半期において、すべての製品カテゴリーおよび地域で幅広い成長を実現し、売上高を堅調に伸長させることができました。厳しい地政学的・経済的環境の中でも、当事業年度の業績見通しの範囲を維持しながら、消費を加速させるための投資を拡大しています。持続可能でバランスの取れた成長を実現する最善の道は、統合成長戦略をさらに強力に推進することであると、私たちは引き続き確信しています。私たちは、当社の取り組みの進捗に自信を持っており、P & Gの強みと独自の能力を最大限に活用し、未来の消費財メーカーを創り上げるという長期的な機会に大きな期待を寄せています。」と述べています。

## 1-3 月期の業績

2026 事業年度第 3 四半期の純売上高は、前年同期比 7%増の 212 億ドルでした。事業の買収・売却の影響と為替レートの影響を除いた本源的売上高は、販売数量の増加による 2%増と価格改定による 1%増を要因として 3%増加しました。ミックスは当四半期の売上高成長に影響を与えませんでした。

2026年1-3月期	販売	為替	価格				本源的	本源的
純売上高増減要因(1)	数量	レート	改定	ミックス	その他(2)	純売上高	販売量	売上高
ビューティー事業	5%	4%	1%	1%	—%	11%	5%	7%
グルーミング事業	-2%	6%	3%	—%	—%	7%	-2%	1%
ヘルスケア事業	-2%	5%	2%	1%	1%	7%	-2%	2%
ファブリック& ホームケア事業	2%	4%	1%	—%	—%	7%	2%	3%
ベビー、フェミニン& ファミリーケア事業	3%	3%	—%	—%	—%	6%	3%	3%
<b>P &amp; G 全体</b>	<b>2%</b>	<b>4%</b>	<b>1%</b>	<b>—%</b>	<b>—%</b>	<b>7%</b>	<b>2%</b>	<b>3%</b>

(1) これらの純売上高に係る増減割合は、継続的に適用している計算方法に基づく概算値です。

(2) その他には事業の買収・売却による売上ミックスの影響、販売数量と純売上高との差異分析に欠かせない端数処理が含まれています。

- ビューティー事業セグメントの本源的売上高は、前年と比べ 7%増加しました。ヘアケア部門の本源的売上高は、販売数量の増加、および、北米とヨーロッパにおける製品イノベーション主導の価格改定により、一桁台半ばの増加となりました。パーソナルケア部門の本源的売上高は、製品イノベーションによる販売数量の増加、有利な地域ミックス、ならびに、価格改定により、一桁台後半の増加となりました。また、スキンケア部門の本源的売上高は、プレミアム製品による有利なミックス、および、販売数量の増加が、主に中国での販売促進のための投資で一部相殺され、一桁台後半の増加となりました。
- グルーミング事業セグメントの本源的売上高は、主に北米とヨーロッパにおける製品イノベーション主導の価格改定が、販売数量の減少で一部相殺されて、前年同期と比べて 1%増加しました。
- ヘルスケア事業セグメントの本源的売上高は、前年と比べ 2%成長しました。オーラルケア部門の本源的売上高は、主に北米における製品イノベーション主導の価格改定、および、プレミアム製品による有利なミックスが、主に中国での販売数量の減少で一部相殺され、一桁台前半の増加となりました。また、パーソナルヘルスケア部門の本源的売上高は、主に北米での価格改定、および、有利な地域ミックスが、主に北米とヨーロッパにおける販売数量の減少の悪影響で一部相殺され、一桁台前半の増加となりました。

- ファブリック&ホームケア事業セグメントの本源的売上高は、前年と比べて3%成長しました。ファブリックケア部門の本源的売上高は、北米での販売数量の増加により、一桁台前半の増加となりました。ホームケア部門の本源的売上高は、ヨーロッパでの販売数量の増加、および、ヨーロッパと北米での価格改定により、一桁台半ばの増加となりました。
- ベビー、フェミニン&ファミリーケア事業セグメントの本源的売上高は、前年と比べて3%成長しました。ベビーケア部門の本源的売上高は、主にインド、中東、アフリカ、中国における販売数量の増加により、一桁台前半の増加となりました。また、フェミニンケア部門の本源的売上高は、主に北米での製品イノベーション主導の価格改定、および、有利な地域ミックスが、販売数量の減少により一部相殺され、一桁台前半の増加となりました。ファミリーケア部門の本源的売上高は、前年同期の流通在庫の減少の反動による力強い販売数量の増加が、販売促進のための投資により一部相殺され、一桁台半ばの増加となりました。

## 2026 事業年度通期の見通し

P & Gは、2026 事業年度通期のすべてを含めた純売上高が前年度比 1~5%の範囲で増加するという見通しを維持しました。外国為替レートの影響と事業の買収・売却の影響は、純売上高の増加に対して約1%の追い風になるものと予想されます。また、当社は、本源的売上高の成長率が増減なしから+4%の範囲に収まるという見通しを維持しました。

## P & Gについて

P & Gは、高い信頼と優れた品質で、市場をリードする製品ブランドを世界中の人々にお届けしています。それらのブランドには、オールウェイズ®、アンビピュア®、アリエール®、バウンティ®、シャーミン®、クレスト®、ドーン®、ダウニー®、フェアリー®、ファブリーズ®、ゲイン®、ジレット®、ヘッド&ショルダーズ®、レノア®、オレイ®、オーラルB®、パンパース®、パンテーン®、SK-II®、タイド®、ヴィックス®、ウイスパー®などが含まれます。P & Gは約 70 カ国に現地事業拠点を置き、世界的に事業を展開しています。P & Gとその製品について、最新の詳しい情報は、米国本社ホームページ <https://us.pg.com> (英語) をご参照ください。その他のP & Gのニュースについては、<https://us.pg.com/newsroom> (英語) をご参照ください。